

急性心筋梗塞

参加形式: 必須

指標名: Door-to-Balloon a.急性心筋梗塞で病院に到着してから PCI までの時間が 90 分以内の患者の割合

定義の要約:

分子) 分母のうち来院後 90 分以内に手技を受けた患者数

分母) 18 歳以上の急性心筋梗塞で PCI を受けた患者数

指標の定義・算出方法:

1. 計測期間において退院した患者を対象とする。
2. 1 のうち、医療資源を最も投入した傷病名と主傷病名の ICD10 コードが下記である患者を算出する。
 - I210 前壁の急性貫壁性心筋梗塞
 - I211 下壁の急性貫壁性心筋梗塞
 - I212 その他の部位の急性貫壁性心筋梗塞
 - I213 急性貫壁性心筋梗塞, 部位不明
3. 2 のうち、EF ファイルより以下の PCI を入院日もしくは翌日に 1 回以上受けた患者を算出する。
 - 150374910 経皮的冠動脈形成術(急性心筋梗塞) K5461
 - 150375010 経皮的冠動脈形成術(不安定狭心症) K5462
 - 150375110 経皮的冠動脈形成術(その他) K5463
 - 150375210 経皮的冠動脈ステント留置術(急性心筋梗塞) K5491
 - 150375310 経皮的冠動脈ステント留置術(不安定狭心症) K5492
 - 150375410 経皮的冠動脈ステント留置術(その他) K5493
4. 3 のうち、様式 1 の生年月日、入院年月日より入院時年齢を求め、18 歳以上の患者を分母とする。
5. 分母のうち、入院日もしくは翌日に以下が算定された患者を分子とする。
 - 150374910 経皮的冠動脈形成術(急性心筋梗塞) K5461
 - 150375210 経皮的冠動脈ステント留置術(急性心筋梗塞) K5491

式	単位
$(\text{分子} \div \text{分母}) \times 100$	% (パーセント)

その他:

意義:

Door-to-Balloon time は施設での急性心筋梗塞がどれだけ迅速に治療されているかという治療の質を表す。この時間が短いほうが生存率や治療後の経過がよいことが知られている。

留意点:

非 ST 上昇型の心筋梗塞患者が分母に含まれると値が低く算出される可能性がある。

診療報酬の定義を用いるため、算定要件の「ショック」症例が含まれる可能性はこの指標の限界・バイアスである。

参考資料:

QIP Quality Indicator/Improvement Project 医療の質の指標 <http://qi.med.kyoto-u.ac.jp/>